

|         |  |
|---------|--|
| 事業名称    | 子育て・発達障がい児者支援「のびのびセミナー・プレイルームわくわく」   |
| 団体名・代表者 | 姫路獨協大学医療保健学部 子育て・発達障がいサポート運営委員会<br>委員長 村井 弘育   |
| 協働の相手方  | 姫路市障害福祉課   |
| 目的      | 「のびのびセミナー」「プレイルームわくわく」を通して、発達障がい児者とその家族への支援とともに、姫路市における地域共生社会の実現をめざす。  |
| 内容      | これまで継続して開催している「のびのびセミナー」「プレイルームわくわく」について、姫路市民にむけて情報提供し参加いただくことで、発達障がい児者への支援とともに、姫路市民が障がい特性を理解する場を提供する。   |
| 事業経過    | 「のびのびセミナー」は日程を1か月延期して開催できるように障害福祉課と連携し、準備をすすめたが、3月のまん延防止等重点措置の期間延長に伴い、今年度の開催は中止となった。「プレイルームわくわく」は、11月から特定可能な少人数で再開したが、感染拡大により1月から再度中止となり、今年度の開催は2回のみであった。  |
| 事業の効果   | 障害福祉課との連携を通して姫路市の計画や調査結果を知ること、地域相談窓口「ひめりんく」と相談支援事業所の相談員から直接お話を伺うことができ、行政と地域の視点からセミナーのあり方を考える機会となった。また、こども保育課へご挨拶させていただき、今度の障害児支援に係る連携のきっかけをつくることができた。さらに、障害福祉課から手話通訳や要約筆記に関する情報を得ることができ、必要な合理的配慮について考えることができた。以上は今後の活動における新たな視点となり、本事業の効果であった。 |
| 今後の展望   | 今年度のセミナー開催は中止となったが、申し込まれた方や関心のある方への発信、また、開催の方法、内容および時期の検討を継続し、来年度の開催を目指す。また今回の事業で知り合うことができた各機関・施設、専門職者や支援者と協力しながら、姫路市における地域共生社会の実現に貢献できるように活動していきたい。   |

### 【実施団体の事業総括・感想等】

新型コロナウイルスの感染拡大を受け「のびのびセミナー」や「プレイルームわくわく」の開催は困難な状況であった。しかし、セミナー開催に向けて障害福祉課と協働するなかで、行政や地域の視点でセミナーのあり方を考えることができ、また姫路市や支援者と連携した活動へのきっかけをつくることができた。実際にセミナーを開催することはできなかったが、本団体の今後の活動を考える貴重な一年であった。

### 【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

障害福祉推進計画において、障害のある児童への支援の充実、地域生活を送るための支援の充実等を重点目標として掲げており、「のびのびセミナー」の開催等による地域との交流創出及び連携強化による今後の支援体制の充実を期待していたため、行事が中止となったことは残念であったが、当方としても運営委員会と協働することができ、貴重な時間を過ごせたと感じている。今後も継続して連携を図り、各種支援の充実に向け、協働していきたい。